



先輩から学ぼう！

副センター長 関口 敏美

目次：

先輩から学ぼう	1
「わかったつもり」？	1
教員に「新採用」されて	2
学校ボランティアの経験	2
幼稚園が、おもしろい	3
小学校で学んだこと	3
教師塾のすすめ	4
教職支援センターの役割	4

教職相談室から教職支援センターに改組したとき、年に一度ですが、教職に就いている卒業生から体験談を聞く会を始めました。例えば、第一回目に話してくれた大阪府の小学校に勤務するMくん(2004年卒)は、三重県の小学校で常勤講師をしながら佛大の通信教育で小免を取り、卒業後一年で大阪府の採用試験に合格するという快挙をなしとげた人ですが、修学旅行の前日にもかかわらず、駆けつけてくれました。第二回目は、神奈川県の中学校で社会を教えるKくん(2007年卒)が、徐々に現役で大阪府の一次を突破したということ、どのような勉強をしたか、面接でどんなことを聞かれたか、報告してくれました。

この結果、当時1年生だったSさんは、春休みから近くの小学校にボランティアに行き始め、2年生の後期からは受験勉強を始めました。そして3年後、十数年ぶりの現役合格を達成した彼女は、後輩たちの前に立ち、堂々と自らの体験を語ってくれました。Sさんは、今年の教育実習事前指導においても社会科の講師として協力してくれましたが、受講した私のゼミ生によれば、教育実習に行ったときにとても役に立つ話

だったとのことです。

彼らは、先輩として、「教採を突破するには早めに受験勉強に着手した方がよい」という、ある意味当たり前のことを後輩たちに伝えてくれました。教職担当の私たちも日頃からその類の話をしてはいますが、まさに「百聞は一見に如かず」です。先輩の語る経験に裏打ちされた具体的な話は、後輩たちにとって何十倍も説得力があることが分かります。

昨年来てくれたTくん(2010年卒)は、「教職に就いたら後輩たちの前で話したい」とのひそやかな野望を胸に秘めて教採突破をめざしたそうです。岐阜県の中学校で社会の常勤講師をしているNくん(2010年卒)からは「教採通ったら呼んでや〜」との売り込みもあります。教職をめざす人に効果的な刺激を与えてくれる先輩たちの話を、せめて年に二度くらいは聞くことのできる機会を提供したいものだと思います。



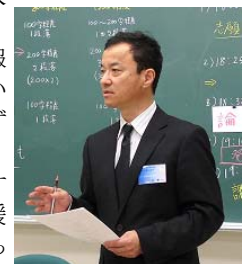
「わかったつもり」がいちばん危ない

教職支援センター 教職アドバイザー 細谷 僚一

最近出た本に「教育問題はなぜまちがって語られるのか？— わかったつもりからの脱却 —」(広田照幸・伊藤茂樹著 日本図書センター)があります。わかりやすく、しかも考えさせられる本です。国民総教育評論家といわれる今日、マスコミに流布される言説やそれによる思い込みで、誰もが「わかったつもり」で教育問題を考え判断してしまいがちです。

学生たちとの相談活動をしていて感じるのもそのことです。教師になるために何をすればよいか、採用選考試験に向けてどう取り組みればよいかなどについて、間違いとは言えないまでも、認識の甘さや誤解から

抜け切れていないと感じることがよくあります。教員採用状況も年々変化してきています。それらを踏まえ、アドバイザーとして教員を志望する一人一人の学生に対応し、できるだけ正確な情報を伝えたいと考えています。相談すれば必ず道が開けるものです。迷うことなく、遠慮することなく、教職支援センターにぜひ立ち寄ってください。



新規採用者

- 志高く
- 自分を開く
- 学び続ける

祝
合格

ボランティア発表会

①

5月25日(水)

中学校で
学んだ
こと



■ 学生のうちにできること

和歌山県西牟婁郡上富田町立岡小学校教諭 奥村 有花(おくむら ゆか)
2010.3 国際文化学科卒業

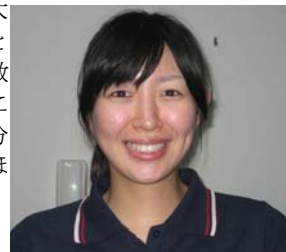
私は2回目のチャレンジで、平成23年度和歌山県公立学校教員採用試験に合格することができました。そして、この4月から和歌山県内の小学校で教師として働いています。

教師という仕事は、大変なこともあります。子どもたちと過ごす日々は、本当に充実しています。今回は、教師を目指す皆さんが、充実した教師生活を送れるよう、微力ながら学生のうちにしておいた方がよかったこと、むしろ「学生の時にしかなかったこと」と、今、教師になって思うことを書きます。二つあります。

一つ目は、様々な教育の現場に関わることです。私は京都市の中学校や小学校でのボランティア、また教師塾などで、いろいろな教育現場のことを知ることができました。しかし、いざ学校現場に入ると、他の教育現場と関わることが少ないと感じます。吸収できることや、その機会があるなら、貪欲に教育現場と関わり、たくさん勉強してほしいと思います。

二つ目は、どんなことでもチャレンジすることです。これは勉強も勿論なのですが、部活や友達との旅行など、自分がしたいことです。しっかり計画を立てて、一度きりしかない大学生時代を満喫してほしいと心から思います。

勉強して広い視野をもち、様々なことにチャレンジしてたくさんの世界を知ることが、人間としての魅力となるはずです。そしてそれが、これから出会う子どもたちを惹きつける教師としての魅力や力量に変わると思います。大学生時代、友人とたくさん遊び、教育について大いに語り合っ、自分の魅力を磨いてほしいと思います。



■ すべての出会いが人生をかえる

文学科 第3学年 椎葉 一勲(しいば かずひろ)

すべての出会いに意味があるということ、私は宇治市での中学校でのボランティア活動や「京都教師塾」での学びを通して強く気付くことができました。

初めての学生ボランティアは、地元の宇治市や京都市南部での中学校でした。さまざまに厳しい育ちや家庭環境を背景をもつ生徒たちとの交流はまさに「体当たり」での貴重な体験でした。

ここでは、生徒一人ひとりの名前や顔を素早く覚え、その名を「呼び」「話しかけ」ることが生徒との良好な関係作りに大きな効果があることを学びました。

また、今年の2月の「京都教師塾」の学びや中学校実地研修での生徒や先生方との出会いは私の中学校・国語科志望をより強固にし、教員への強いアクセラになりました。

教師塾での実地研修は素晴らしい雰囲気の中学校で今まで経験した学校の子どもたちと同様、積極的(アグレッシブ)に私は関わることが出来ました。

その結果、10日間という短い期間でしたが本当に充実していて研修最終日にはあるクラスからみんなで寄せ書きした色紙と、私が一緒に撮ったクラス写真をプレゼントしてもらいました。

このようなことは教師塾の塾生で私をはじめでだと教頭先生から聞き、その時わたしは今まで感じたことのない気持ち(死ぬほど嬉しい!)が湧き起こりました。

そしてこの研修で出会った先生によって、私自身の根本にあった悩みが引き出され、自分と向き合うきっかけを与えられました。

その悩みはとて大きなものでしたが、それを乗り越えていく中で、素晴らしい人たちとの新たな出会いが始まりました。

今、振り替えれば、人は目標に向かって前進すればするほど、人生に大きな影響を与えてくれる人たちに出会えるということを実感しました。また、何かに本気になって挑戦すれば必ず悩みや壁がありその時は自分にとってとても遠回りしているように思えても、それを乗り越えたとき、すべてがこれからの自分を作る為に興味のあることだったのだと思えるようになりました。

私がこれらの貴重な出会いによって人生を変えていただいたように、今度は私がこれから出会っていく子どもたちの人生を大きく変えてあげられるような存在になっていきたい、と真剣に今、考えています。

■ 「できないのは誰のせい？」 ～学生ボランティアで学んだこと～

教育・心理学科 第3学年 坂山 永祐(さかやま えいすけ)

私は、大学2年生の時から幼稚園と小学校のボランティアをしています。幼児教育は自分の専攻している分野ではありませんでした。

しかし、幼稚園の様子を少しでも知っておきたいと思い参加しました。ボランティアに行く以前は小学校一年生が机に座れない、授業に集中していないなどの「小1プロブレム」は幼稚園に原因があるのではないかと考えていました。

あるとき、幼稚園の先生に「小学校の教師も幼稚園を見ておく必要がある、それはなぜだと思うか」という質問を受けました。私が答えに詰まっていると先生に、「じゃあ、子どもがうまくできないのは誰のせいか」と尋ねられました。その時に、私の中で、はっとする部分がありました。

「できない、やらない」と子どものせいだと

考えていましたが、教師や大人の側に問題はあるのではないだろうか。その先生と話していくうちに、いつしか子どもを大人からの遠い目線で見ていたのだと感じました。

先生は「教師は、うまくいかないときに子どものせいにする傾向がある」とも言われました。

振り返ってみると、私自身の模擬授業も教師主導の「教え込む」授業で子どもの目線や思いが組み込まれていなかったのではないかと、反省しました。

大学生にとって学生ボランティアは現場を経験できるだけでなく、「子ども」と「教師(大人)」の両方の目線を学ぶことができる非常に貴重な機会だと私は思います。日々学んだことをしっかり身につけられるようにこれからも取り組んでいきたいです。

ボランティア発表会

②

5月25日(水)

幼稚園で 学んだ こと



■ 実際に目で見て感じる

教育・心理学科 第3学年 大西 瑛留(おおにし える)

1年生の4月から宇治市や地元舞鶴の小学校の教室に入り、ボランティアとして子どもたちと関わってきました。

初めは、子どもたちと会うまで緊張と不安と恐怖でした。しかし、子どもたちと会った瞬間、何の迷いもなく「えー誰?」「何しに来たんー?」と声をかけられ心が軽くなりました。

同時に、ボランティアを意味あるものにするためには、自分から殻を破って行かないと何も始まらないと気づきました。それから私のボランティア生活が始まりました。

週に1回の子どもたちと関われるチャンスを生かすためにも、とにかく学年関係なしに学校のいろんな子どもたちと話をしたり、分からないことは先生じゃなく、あえて子どもたちに聞いてみたり、休み時間は遊びの中に入っていったりと、そういったところから子どもとの距離を縮めていきました。子どもたちはすぐに私の名前を覚えてくれ、「瑛留先生」と呼ばれるたびに気持ちが高まりました。

2年生の時、夏休みと春休みを利用して2週間

ずつ集中で母校(舞鶴)の小学校へボランティアに行かせてもらいました。担当は元気でやんちゃな40人の2年生クラスでした。立ち歩き、話を聞かない、おしゃべりは当然で、授業を始めるまでに30分以上過ぎているのが普通でした。

夏休みは運動会練習もあり、毎日が嵐のように過ぎていきました。そして半年後の春休みにまた同じクラスに入らせてもらいました。久しぶりに教室に入ると、子どもたちはしっかりと自分の席につき、先生の話聞き、子どもたち同士で注意し合っていました。子どもたちの成長を目で見て感じた瞬間でした。

実際に現場に入り、子どもと関わっていくことで、一人一人の個性が見えてくるし、日々成長していく子どもの姿を実感することができます。これからももっとたくさん子どもたちと関わり、様々なことを共感していきたいです。

ボランティア発表会

③

5月25日(水)

小学校で 学んだ こと



第2学年から「ゼヒトモ」参加！
教師塾・教志セミナー・教員ゆめ塾など



「教師になろう」という高い志と情熱・行動力に溢れる学生諸君は、教師になる第一歩である下欄の各教育委員会主催の「塾・講座・セミナー」に「ゼヒトモ」参加してください。

教職アドバイザー 馬場 信行

京都府教育委員会 「教師力養成講座」
 ・受付期間 (未定 昨年度は11月8日～12月3日)
 ・募集人数 (未定 昨年度は70名、募集対象は、大学3年生・大学院生)

京都市教育委員会 (第6期「京都教師塾」)
 ・受付期間 7月1日(木)～8月27日(金)
 ・募集人数 300名(募集対象は、昭和45年4月2日以降生まれ)

大阪府教育委員会 (第5期生「大阪教志セミナー」)
 ・受付期間 5月2日(月)～6月17日(金)
 ・募集人数 200名(募集対象は短大1年生・大学3年生・大学院1年生)

大阪府教育委員会 大阪市教師養成講座(小・中学校)
 ・受付期間 4月9日(土)～5月31日(火)
 ・募集人数 250名(募集対象は、短大1年生、大学3年生)

滋賀県教育委員会 「滋賀の教師塾」
 ・受付期間 6月27日(月)～8月5日(金)
 ・募集人数 150名(募集対象は、平成25年3月31日までに小・中の普通免許取得見込みの人)

奈良県教育委員会 「奈良県ディア・ティーチャー・プログラム」
 ・受付期間 5月16日(月)～6月24日(金)
 ・募集人数 100名(募集対象は、大学3年生、大学院1年生)

堺市教育委員会 第5期「堺・教師ゆめ塾」
 ・受付期間 前期 4月18日(月)～6月14日(火)
 後期 7月11日(月)～9月2日(金)
 ・募集人数 125名(募集対象は、短大1・2年生、大学3・4年生、大学院生)

○教職支援センターの役割(前号に続き)
「“ゼヒトモ”教師」を

応援します！



2012 CAMPUS LIFE 入試資料(大谷大学)より
 本センターの役割を「“ゼヒトモ”教員になりたい」との夢の実現をサポートしている、と書きました。今号ではさらに支援の様子を次の4つの柱でまとめます。

教職アドバイザー 西寺 正

Support その1

「絶対、教員になる！」学生に向けた支援

最近、小学校からの「宿泊学習」や放課後「学び教室」の依頼に応えたり、学生ボランティアとして延べ200名以上の学生が実績をあげています。

Support その2

センター資料室での模擬授業の準備や支援

資料室では、各校種の教科書や資料の閲覧や貸し出しを行っています。また、同室では学校現場での即応力を身に付けられるよう模擬授業の準備をするなど、真剣な姿が見られます。

Support その3

教職アドバイザーや「大谷教師塾」のフル活用

教職アドバイザーが試験対策や心構えなどを個別に指導します。また、本誌「大谷教師塾」で学生の教員への夢の実現をサポートしています。

Support その4

教員採用情報の発信

「採用直前講習」などを通じて、面接・論文指導など実践的な指導を行っています。なお、教員採用状況は下図の通りです。



教員採用状況(2011.5.2現在) 単位:人

	教諭	常勤講師	非常勤講師等	合計		実習生
				人数	%	
09年度	2	18	19	39	52.0%	75
10年度	4	14	9	27	45.8%	59

*数字は、各年度ごとに教育実習に参加した学生の採用状況。

*教諭の内訳：
 09年度公立小学校1名、公立中学校1名
 10年度公立小学校1名、私立高等学校3名